

備前市事務事業評価シート（評価シートの見方）

事業の概要		事業開始年度	昭和・平成 年度～	根拠法令・例規等	法、 条例、 要綱
総合計画	大項目 基本目標	コード番号	事務事業と政策・施策との関係がわかるよう、総合計画で位置付けられる体系を事務事業体系表から記載しています	問	担当課（室）
	中項目 基本施策			職・氏名	
	小項目 施策			電話	
事務事業名		事務事業体系表で整理した評価対象事務事業名	このシート作成に要した時間	時間	

事業の目的	
対象（誰・何に対して）	この事業実施により、働きかける対象は誰・何なのか、を記載しています 具体的かつ限定的（受益者を年代、地域、職業、団体など）に記載
目的（何のために）	この事業の目的は、何のために実施しているのか、を記載しています
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	この事業の実施（行政活動の実施）により、何を目指し、どのような状態（成果）にしたいのか、を記載しています ここで記載した文章を、成果指標で数値化

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	補助金交付事業	に対し、 を目的として、 に要する経費の一部（補助率 %、 円限度）を補助する	
	（施設名）管理運営事業	に対し、 することを目的に設置した 施設の管理運営	
	サービス事業	に対し、 を目的として、「 」、「 」、「 」を行う	

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	直接事業費	必要人員・人件費	千円	この事業の事業費を記載しています 必要人員 / 人件費は業務量算定表から転記しています		
	事業費	事業費	千円	0		
	国庫支出金	受益者負担	千円			
	繰入金	市				
	その他（ ）	一般財源				
	受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	指標名を記載	説明	指標の内容を記載しています		
	結果指標量	単位	実施した行政活動のうち、最も重要な項目について結果指標として抽出しています		
	対前年比	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の成果						
成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値	
行政活動の結果、サービスの受け手である市民に直接的、間接的にどれだけ効果及ぼしたかを数値で表示しています 事業の意図する成果を表す指標を設定します	目標値（A）				到達目標値	
	実績値（B）					
	達成率（B/A）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
成果指標設定の考え方・式や説明						
		なぜ、それを成果指標に設定したかを記載しています 指標が数式で表される場合はその式を記載しています 成果指標を設定しない場合はその理由を記載しています				

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民ニーズ	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
有効性の評価	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民参画度		

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	この事業の今年度（平成24年度）の状況について記載しています この事業の今年度の状況について1つだけチェックしています						

総合評価		この事業の総合評価を5段階評価
「妥当性」「効率性」「有効性」 3つの評価視点からの結果や課題認識、さらに今年度（平成24年度）の状況を踏まえて、当該事業を総合評価しています	総合評価	B
	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	

平成25年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	評価結果を踏まえた翌年度の取組内容（目標）について、市民が見てわかるように具体的に記載しています 目標管理シートとリンクする項目となります（係目標、または個人目標となり得ます）						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

このシート作成に要した時間(0.5~7.0)を記載しています

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

<事業の可視化>
一般に、左側にチェックの多い事業は評価の高い事業
右側に1つでもチェックがつけられ、改善、見直しが必要

事業の目的やその留意目標を評価

翌年度（進行年度）の目標値、最終の到達目標値を設定しています
そうすることで、事務事業の進捗状況が明確になります

市の関与の妥当性・必要性、市民ニーズの観点から、当該事業を判定しています

事業費や単位当たりコストを用いた分析結果等から判定しています

この事務事業が、上位の施策の現実にとってどのような役割を担ったものであるのか、また、現状においてどれだけ寄与できているのかを分析し判定しています

この事業の来年度の方向性について1つだけチェックしています

Action